

平成二十九年入学試験問題（推薦入試Ⅱ・社会人特別入試）

## 小論文

法学部 総合社会システム学科（昼間主コース・夜間主コース）

### 注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、解答時間は、一二〇分である。
- 五、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 問題

次の文章は、子どもの貧困について述べたものです。この文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

(1) 傍線部において、筆者は、「日本において、今後、経済成長や景気回復が、どれほど子どもの貧困の解消に役立つかはわからない。しかしながら、それをあまり期待できない要素はそろっている」と述べている。なぜ筆者は、「それをあまり期待できない」と考えているのか、ケンワシーの研究を参考にしながら、五〇〇字以上、七〇〇字以内で述べなさい。

(2) 著者の主張を参考にしながら、日本における子どもの貧困の問題について、あなた自身の考えを三〇〇字以上五〇〇字以内で論じなさい。

非公開

非公開

非公開

非  
公開

(阿部彩、『子どもの貧困Ⅱ―解決策を考える』、岩波書店、二〇一四年、六ページ、三〇～三六ページ、抜粋・一部改変)

別紙

【図表 1】最貧層\* の所得の 30 年間の変化

非公開

\* 世帯所得が最も低い 10%の人々

【図表 2】 相対的貧困率の推移



平成二十九年入学試験問題（推薦入試Ⅱ・社会人特別入試）

小論文

法学部 総合社会システム学科（昼間主コース・夜間主コース）

出題の意図

この小論文の出題の意図は、受験生が、社会科学系の学問を専攻する上で必要な能力をどの程度持っているかを見ることにある。本学科のアドミッション・ポリシーである①人間社会や社会諸科学への深い関心、②柔軟かつ総合的な思考力、③主体的に学ぶ意欲の有無を判断するため、まず、提示された文章全体の内容を正しく読解することができるかをみる。次に、この文章で述べられている社会的な問題に対する自分の考えを論じさせることによって、日頃から社会問題に関心を持っているかをみる。そして、解答全体から、自分の考えを論理的に表現し、展開する能力があるかを問うものである。